

活動の円滑な推進に向けた 土地改良区の役割

出雲市斐川町農地・水・環境保全管理協定

斐川平野と宍道湖



緑と潤いのふるさと

出雲市斐川土地改良区

目 次

1. 地域の農業の概要
2. 地域の特徴的な体制
3. 多面支払の活動組織構成、手法、運営
4. 土地改良区の役割とそのメリット
5. 今後の展望

地域の概要（島根県出雲市斐川町）



島根県 出雲市 斐川町

■ 出雲市内の見どころ

- ・ 出雲大社……車で約30分
- ・ 荒神谷遺跡……車で約10分
- ・ 出西窯……車で約15分
- ・ 万九千神社……車で約10分

※所要時間は出雲市役所
斐川行政センターから
の目安です。



【人口】

（令和元年8月末現在 出雲市住民基本台帳より）

- ◆ 出雲市全体 : 175,578人
- ◆ うち斐川地域 : 29,377人

【面積】

- ◆ 出雲市全体 : 624.36 km²
- ◆ うち斐川地域 : 80.64 km²



斐川平野の築地松



出雲大社

斐川地域の農業

主要な土地利用型作物（H30産）

島根県推奨品目
特Aランク米



大麦の収穫

水稲(1,412.1ha) ^(5%)ハナエチゼン・^(35%)つや姫・^(10%)コシヒカリ
^(50%)きぬむすめ

大麦(380.0ha) 二条大麦、はだか麦

⇒ビール麦: キリンビール(株)



大豆の収穫

大豆(246.7ha) タマホマレ・サチユタカ・フクユタカ

⇒中国管内を中心に出荷

ハトムギ(82.8ha) あきしずく

⇒生産量全国第4位

ひまわり(10.1ha) 春りん蔵

そば(75.1ha) 出雲の舞

飼料作物(127.7ha)



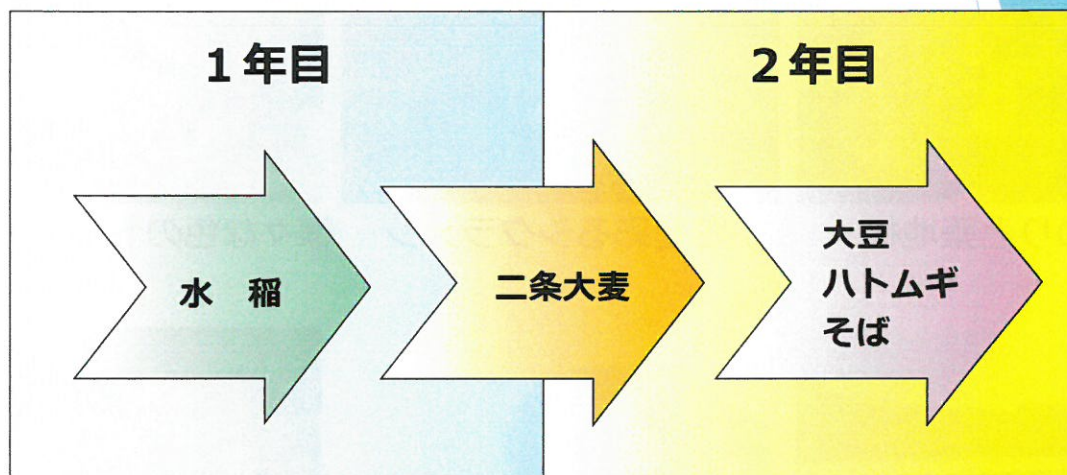
ひまわり加工品



ハトムギ

斐川地域の農業

- 1枚の水田での水稲・麦・大豆等による **2年3作の作付体系の推進**
土地利用型作物の作付体系



- **水田の耕地利用率 119% (島根県平均78%、全国平均92%)**

【耕地利用率(%) = 作付延べ面積 ÷ 耕地面積 × 100】

資料：斐川町耕地利用率（H30年度 地域農業再生協議会調査）、全国平均耕地利用率（H29年度 農林水産統計）

斐川地域の農業

主要な園芸農産物（H30産）

国の野菜
指定産地

たまねぎ(15.1ha)

⇒大阪・広島市場を中心に出荷

キャベツ(13.5ha) 夏秋・秋冬・冬

⇒大阪・広島市場を中心に出荷



白ねぎ
青ねぎ
出西しょうが



花苗・野菜苗⇒広島市場を中心に出荷

花卉(シクラメン・アジサイ・トルコギキョウ)

⇒九州・広島市場を中心に出荷

施設果樹(ぶどう) デラウェア・巨峰・シャインマスカット

⇒大阪・名古屋市場を中心に出荷



～花のまち斐川を代表する花卉類～



ひまわりと築地松



冬を彩るシクラメン



様々な色のトルコギキョウ



一面のチューリップ



島根オリジナルあじさい
“万華鏡”



荒神谷のハス

斐川地域のスマート農業への取組

- ① GPSを活用した自動操舵、直進機能トラクター等
- ② ドローンを活用した生育・病害診断及び施肥・薬剤散布
- ③ 水田センサー、自動給水システムによる水管理
- ④ 玉ねぎ・キャベツの高性能収穫機
- ⑤ 営農・栽培管理システムによる作業記録入力



直進機能トラクター



ドローン薬剤散布



水田センサー



自動給水システム



営農・栽培管理
システム



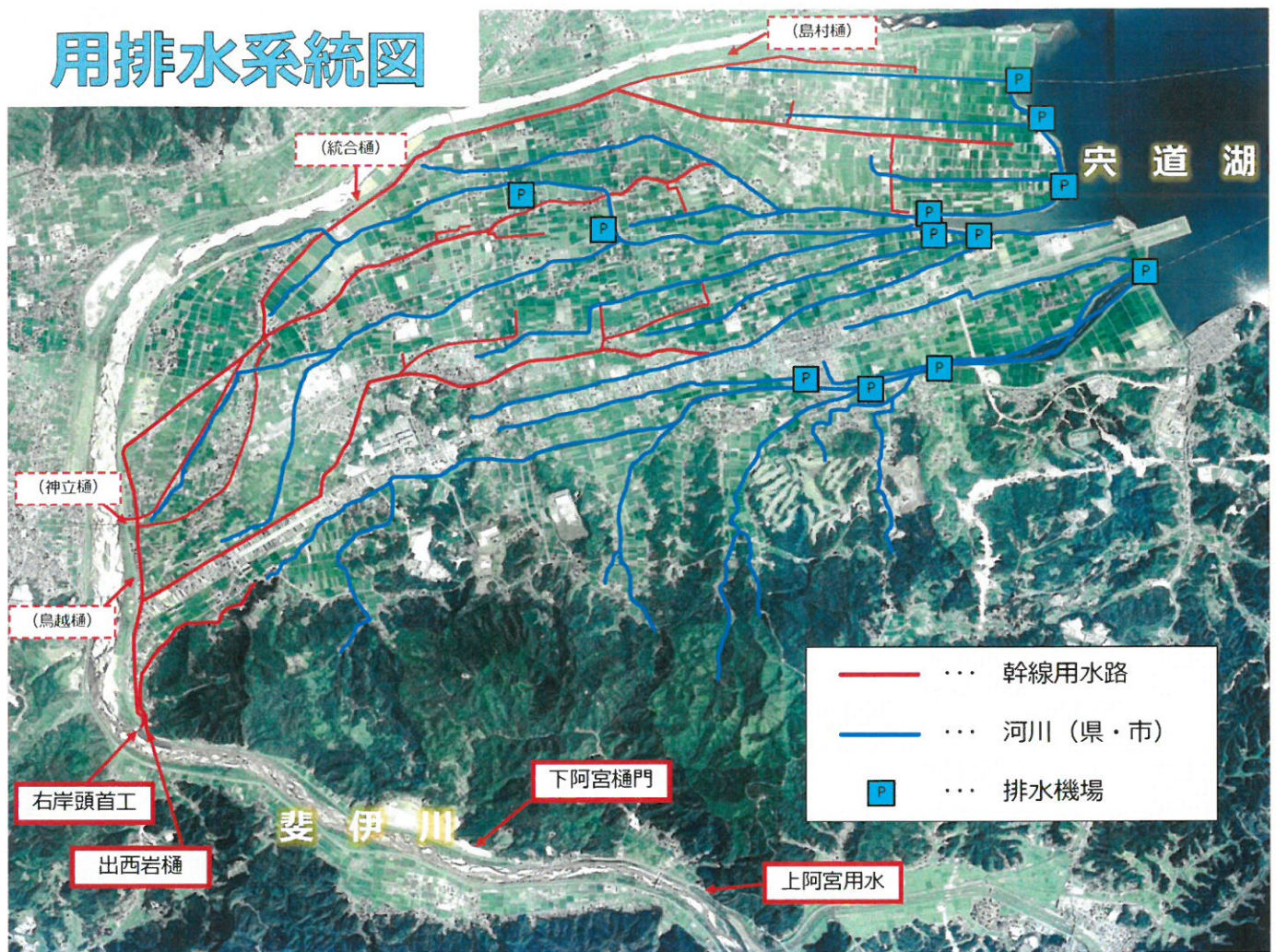
GPS受信機搭載
乗用管理機



玉ねぎ高性能
収穫機

**担い手農地集積率80%からの挑戦！！「更なる水田フル活用による
耕地利用率125%・後継者への技術継承」に向けたスマート農業実証**

排水系統図



斐川地域の特徴的な農業推進体制

① 斐川町農林事務局体制

○農業関係支援機関が一体となった農業施策の決定と遂行

② 斐川町農業振興区制度

○農業振興における地元組織

③ 斐川町農業公社による農地集積・集約

○マッピング（地図）システムをフル活用した農地の面的集積

①斐川町農林事務局体制（S38年～）

島根県東部農林振興センター
出雲市役所斐川農業事務所
JAしまね斐川地区本部
(公財)斐川町農業公社
出雲市農業委員会
島根県農業共済組合
出雲市斐川土地改良区

(計7組織)

斐川地域の農業推進方策決定

毎月1回定例で事務局会議（幹事会）を開催

【H23～斐川町地域農業再生協議会の事務局としても位置づけ】

平成30年度

宮農座談会資料



3つのしんか「深化・新化・真価」を柱に
次世代へつなごう！ | ひかわ元気産業

妻川町農林事務局

鳥根県支庁農林振興センター
鳥根県農業共済組合
出雲市役所農用支所
出雲市農業委員会
出雲市農林委員会
出雲市農用土地改良区
JAまね農用地区本部

平成31年2月

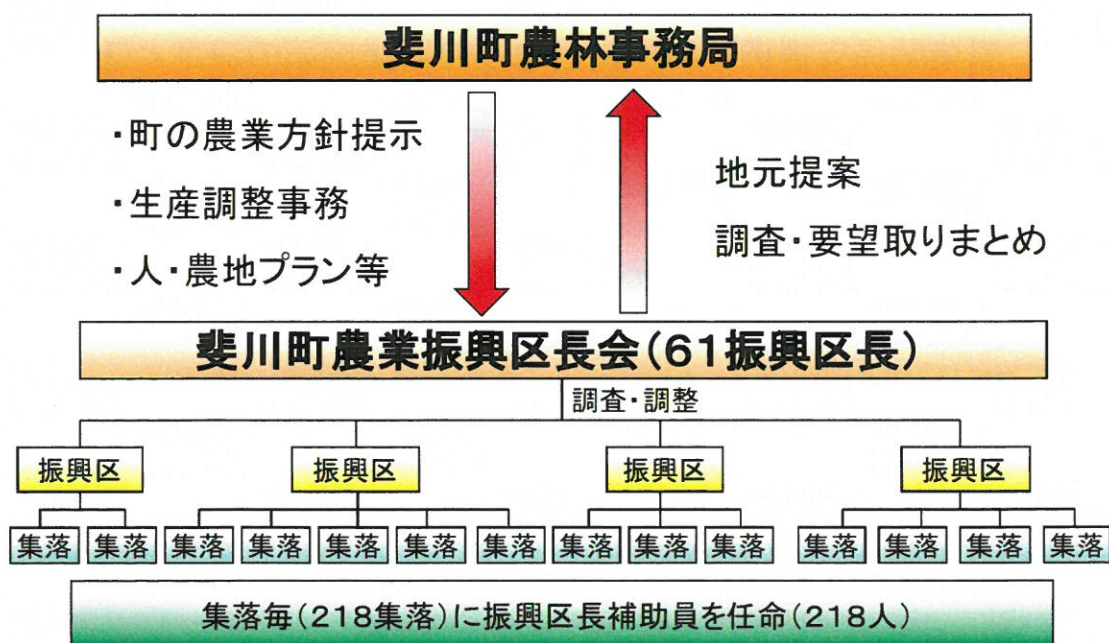
【農林事務局での協議】

- ・農政計画（推進方針）
- ・生産調整
- ・生産振興など

②斐川町農業振興区制度（S35年～）

○町の農業振興の調査並びに実施

○農業振興の地元調整組織（複数集落をまとめた組織）



③斐川町農業公社による農地集積・集約 (平成6年9月1日設立)

①農地利用集積円滑化事業(出雲市斐川町エリア)

②農地中間管理事業(出雲市斐川町エリア)

③農作業受委託幹旋事業

- ・ 水稻作業

- (耕起、代掻き、田植、刈取、均平作業等)

- ・ 堆肥散布作業

- (土づくり支援)

- ・ 畦畔管理作業

- (担い手の畦畔草刈支援)

④利用貸付事業(農業施設リース事業)

- ・ 青ネギ、ぶどうのリースハウス



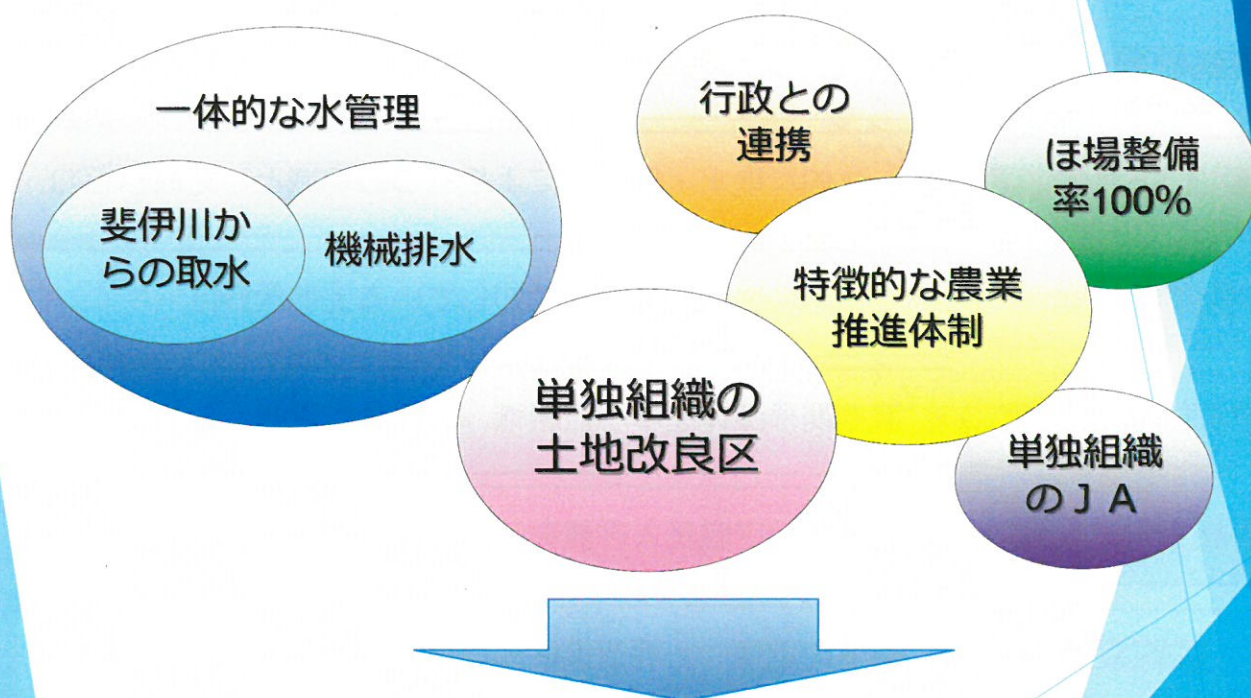
堆肥散布



担い手農家の草刈支援

⇒土地改良区は農業公社と連携し、水土里情報システムの活用、
3条資格者の情報、農地の相談等各種事業の推進に貢献

斐川町全町一本での取り組みへ



斐川町をひとつの地域として考え、全町一本で取り組む

出雲市斐川町農地・水・環境保全管理協定 協定農用地

協定農用地
(2,282.8ha)



合意形成と課題解決までのプロセス

事業概要の把握

水路等の施設補修が地元負担なしで実施可能

取組エリアの決定

一体的な取水・排水等により一つの地域として取り組む

事務局の選任

斐川町の農業用施設を熟知している土地改良区

参加団体の決定

農業関係団体を中心に組織、各団体へ説明会の開催

委託金額の設定

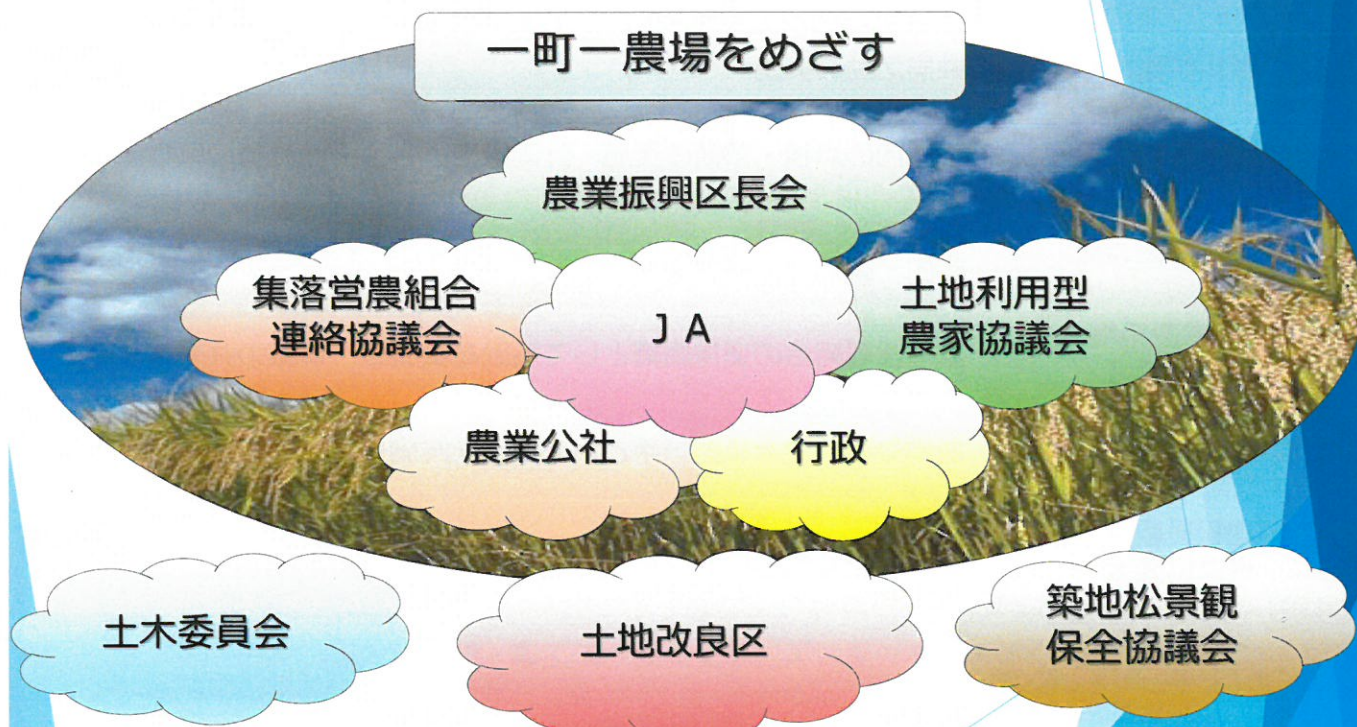
土地改良区職員人件費を日報により積み上げて計算

定款変更

数々の協議や土地改良区の理事会を経て総代会で承認

H19.6.19 斐川町農地・水・環境保全協議会発足

合意形成と課題解決までのプロセス



既存の組織や体制を取り込むことにより、
活動組織設立はスムーズに行うことが可能であった

管理協定の構成

出雲市斐川町農地・水・環境保全管理協定

農業振興区長会

斐川町集落
(農業者・非農業者)

土木委員会

集落営農組合
連絡協議会

土地利用型
農家協議会

築地松景観保全
推進協議会

JAしまね
斐川地区本部

斐川町農業公社

出雲市斐川
土地改良区

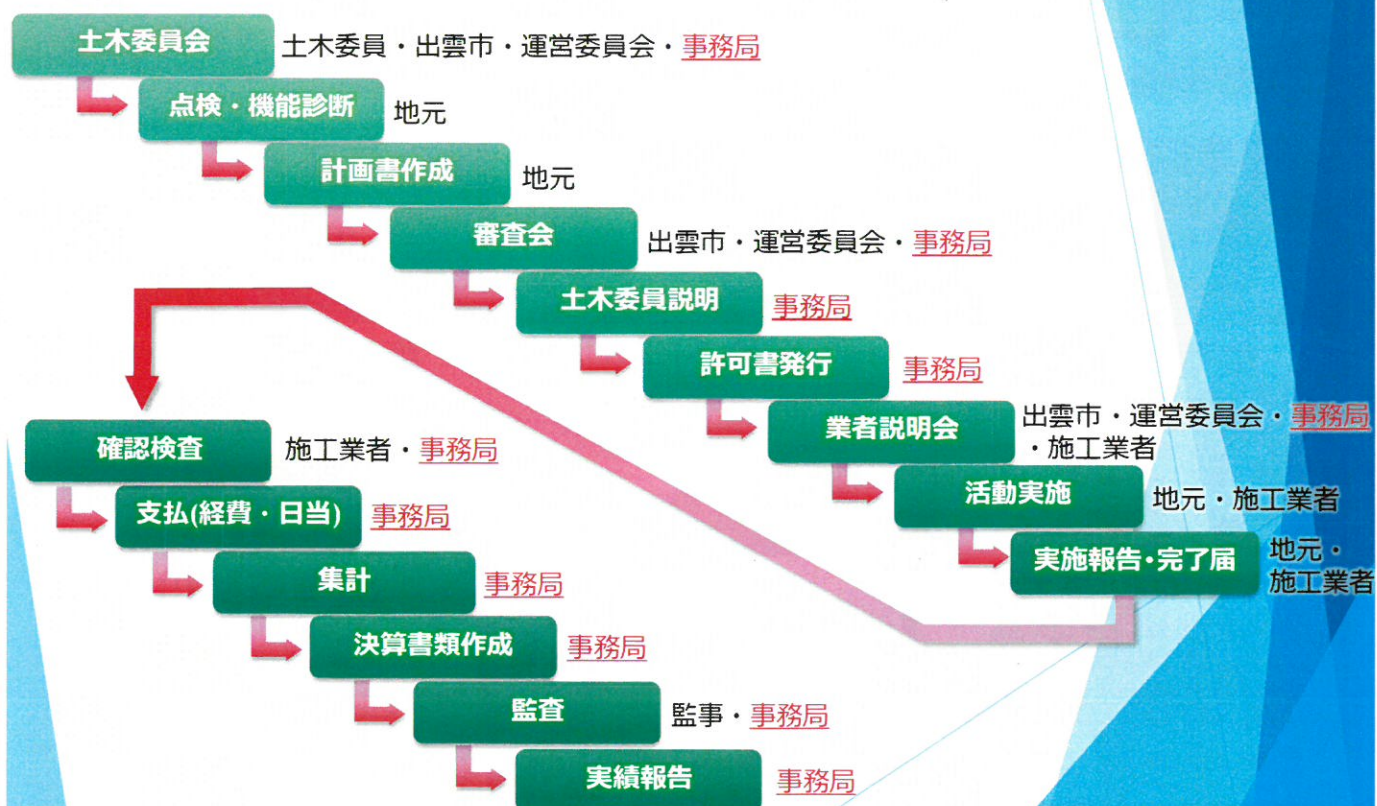
構成団体により毎年開催している
出雲市斐川町農地・水・環境保全協議会

事務を委託

参加集落及び団体の役割分担

集落・団体	役 割
斐川町集落	・ 共同活動の実施
土木委員会	・ 地域内の点検・診断の実施、計画策定、各種実践活動の取りまとめ
農業振興区長会	・ 営農状況を確認し、遊休農地の発生を防止する ・ 町内一斉草刈の徹底を図る
集落営農組織 連絡協議会	・ 集落営農組合の連携組織として活動を実施し、情報の共有化を図る
土地利用型農家協議会	・ 地域農業の主たる担い手として活動を実施し、情報の共有化を図る
築地松景観保全 推進協議会	・ 築地松景観保全活動、普及・啓発活動の実施
J Aしまね 斐川地区本部	・ 農業や農村環境保全活動への指導・助言
斐川町農業公社	・ 農地の集積・集約に伴う担い手との連携強化 ・ 土地持ち非農家等を含めた体制づくりへの助言・指導

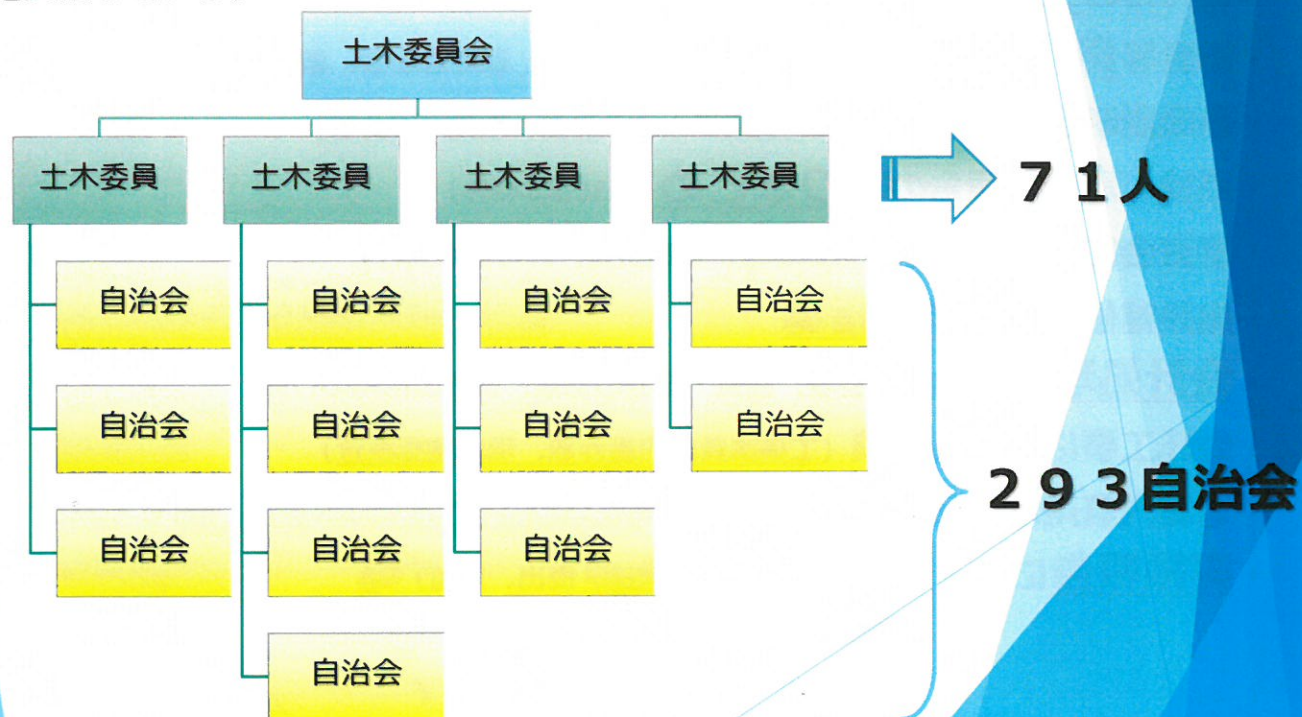
活動の手順



土木委員会とは

土木委員会は出雲市の土木行政の円滑な推進を図るため、市の委嘱を受けている非常勤の特別職。

多面的機能支払交付金事業では土木委員を中心に各地域で点検・計画・実践活動を実施している。



土地改良区の役割と活動組織との関係



交付申請、実績報告

相談、指導

連携

運営委員会

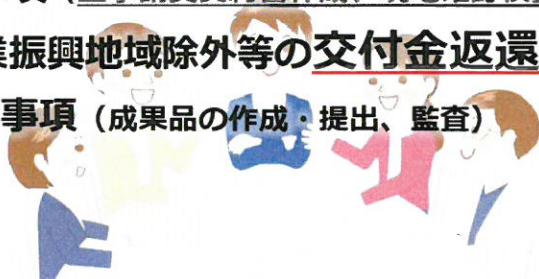
土地改良区
(事務局)

事務の委託（交付申請含む書類作成等）

土地改良区の役割（受託内容）

- ・活動計画に関する事項
- ・交付金の交付申請業務（申請書、請求書等の作成・提出）
- ・総会等資料作成（会長副会長会、運営委員会、保全協議会、監事会）
- ・事業説明会に関する事項（構成員土木委員会、地元説明会等）
- ・点検、計画、報告のとりまとめ（H30は648件）
- ・審査会に関する事項（書類審査、現地審査、許可書の発行）
- ・施設補修の際の技術指導

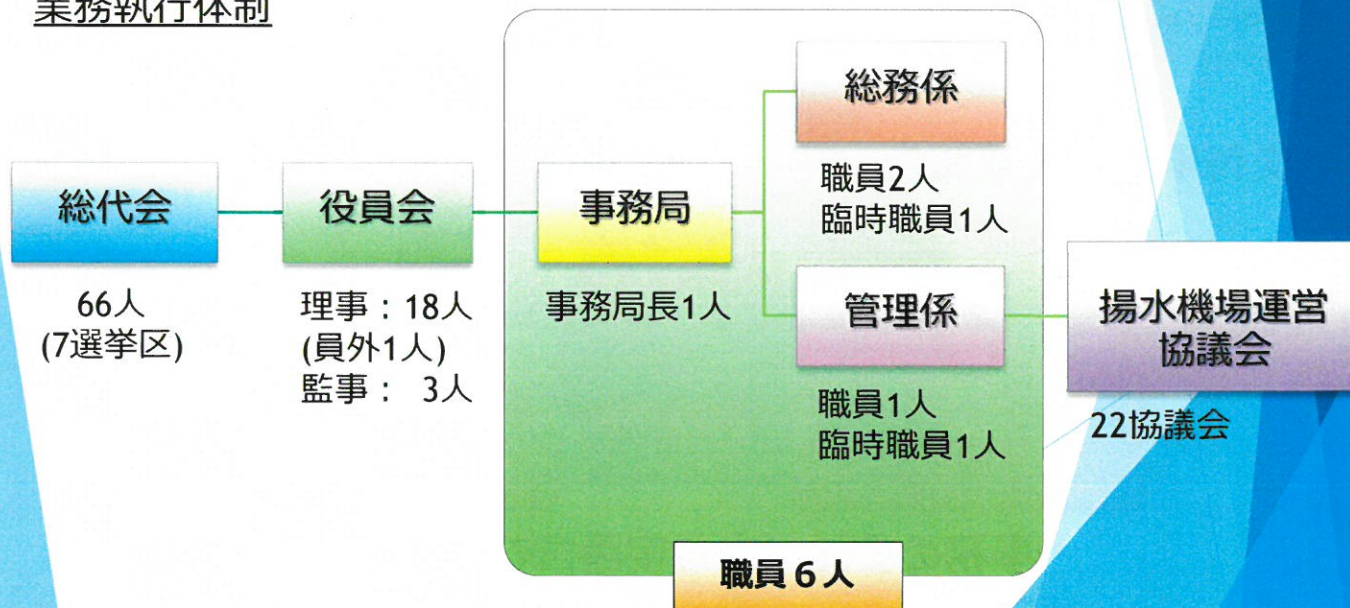
年2回約4,000人分を現金で支払い
- ・会計処理業務（通帳管理、経費・日当の支払、金銭出納簿の作成）
- ・委託工事に関する事項（工事請負契約書作成、現地確認検査）
- ・地域内農用地の農業振興地域除外等の交付金返還事務に関する事項
- ・実績報告に関する事項（成果品の作成・提出、監査）



出雲市斐川土地改良区の概要

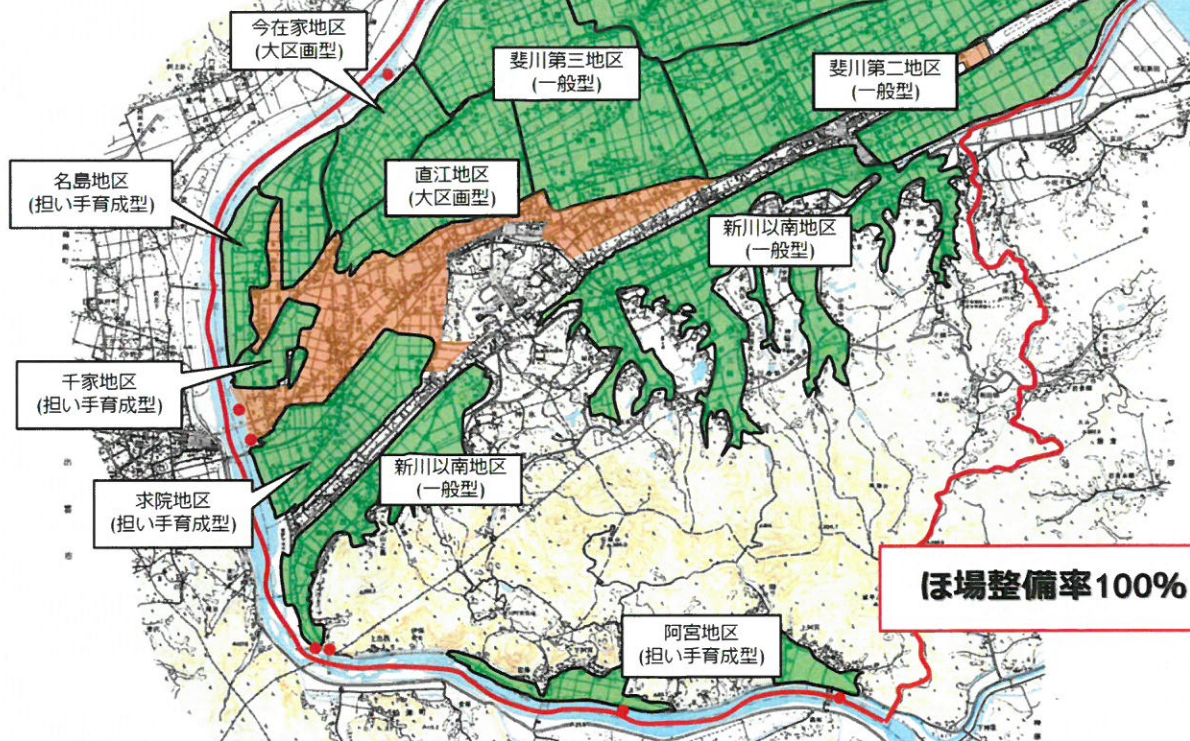
関係市町村	地区面積	組合員数
島根県出雲市	2,474 ha	3,230 人

業務執行体制

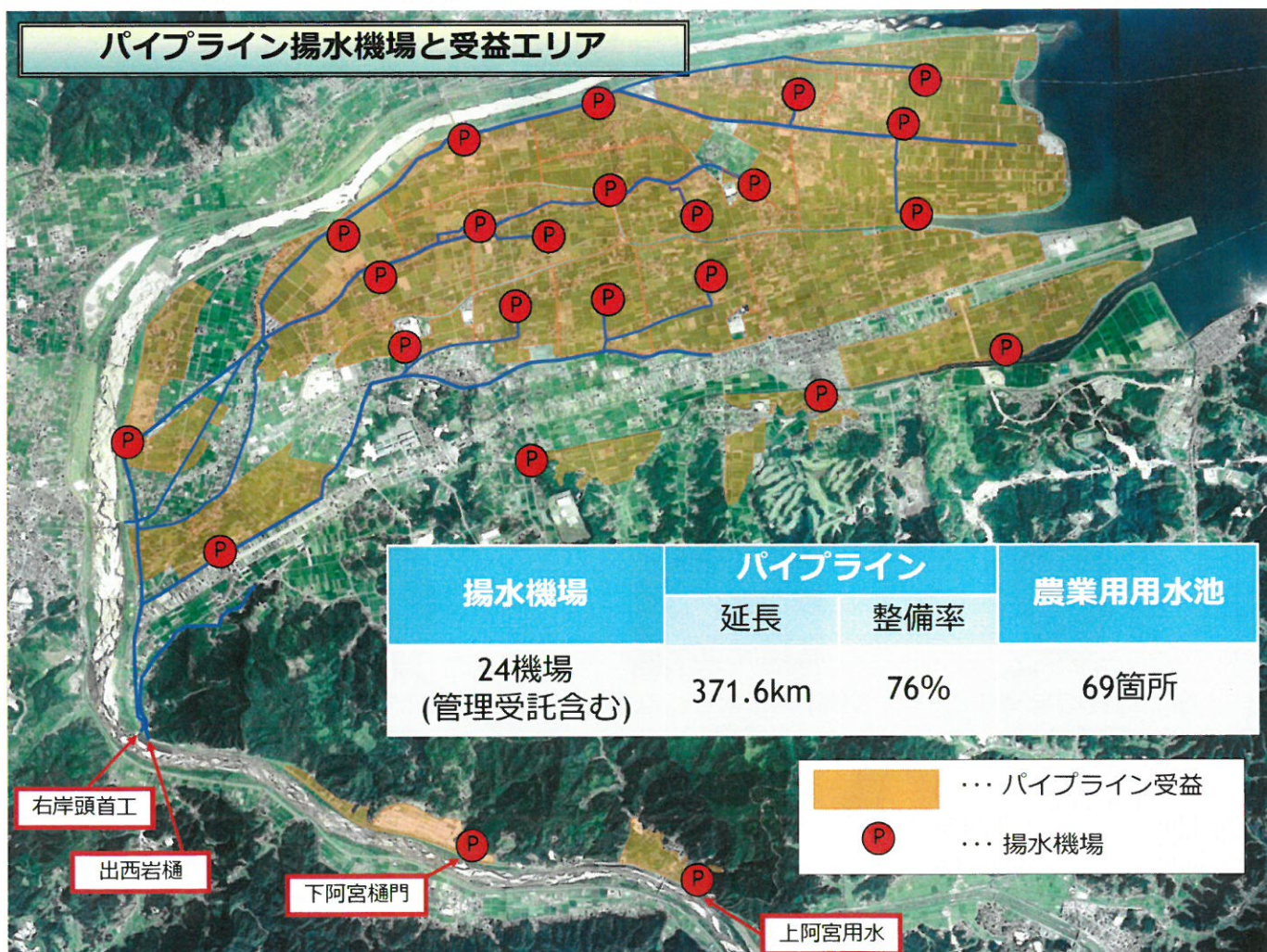


出雲市斐川土地改良区の区域とほ場整備事業実施状況図

凡 例	
30 a 区画以上	
10 a 区画	



パイプライン揚水機場と受益エリア



土地改良区が事務作業を行うメリット

○活動組織のメリット

- ①事務処理の負担がない
- ②行政・JA・土地改良区が連携し円滑な事業の推進が可能
- ③取り扱う施設の事業区分が明確（補助金の二重投資防止）
- ④重点的な施設の補修（地域のとりまとめ）
- ⑤信頼性（ほ場整備率100%である斐川を熟知したプロ集団）
- ⑥地元との繋がりが深いためスムーズな活動が可能
- ⑦地域主体の活動や幅広い活動の展開が可能 etc...

施設の老朽化・破損



相談・協議

多面的で補修



迅速な対応が可能！

土地改良区が事務作業を行うメリット

○土地改良区のメリット

- ①事務委託費による収入の増加
- ②これからの再基盤整備に向けた地域の把握
- ③地域住民との繋がり
- ④土地改良区の重要性
- ⑤行政への発言力の強化 etc...

個性ある土地改良区の職員



様々な資格を有する
事務局長



冷静沈着頼りになる
参事



仕事も恋も一生懸命
主事



接客のスペシャリスト



万能戦士



発表者

土地改良区と活動組織が 協力体制を構築したことによる効果

安心感

職員体制が整った
土地改良のため安心して委託ができる

地域の 繋がり

共同活動により地域の
繋がりが強くなった

公平な交 付金活用

全町の状況が把握
できるため公平な
交付金の活用が可能

情報共有

土地改良区に全て集中
するので、他地域の
活動も把握できる

団体の 連携

土地改良区を中心
に各団体が連携し
事業の推進が可能

住民へ の周知

土地改良区が各地
で説明会等を行い
情報提供が可能

今後の協力体制の深化について

幅広い活動展開による地域活性化、頼れる中心的組織



各種団体の特色を活かした活動



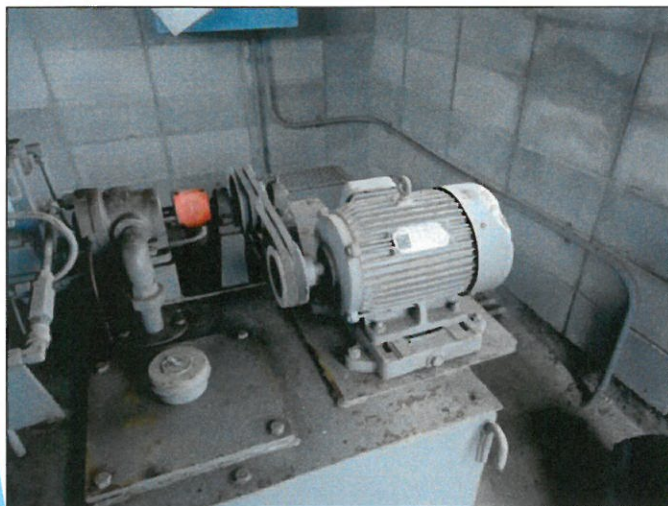
行政との連携強化によるスキルアップ



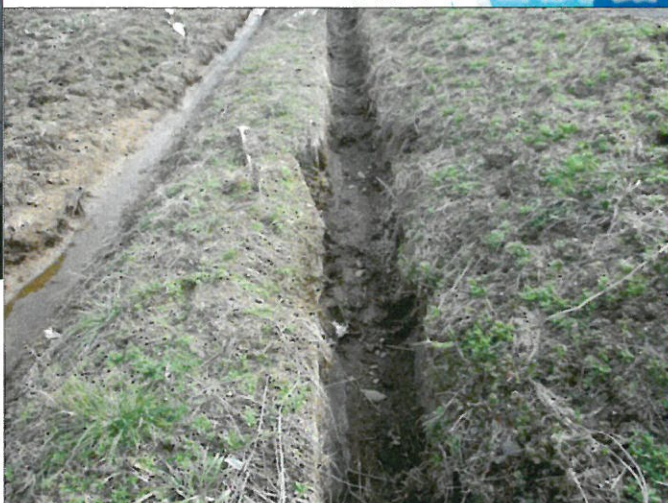
新たな団体の協定への加入推進

新たな取り組みの展望

①施設の長寿命化のための活動の幅広い展開



老朽化したポンプ



破損した用水路

➡ 老朽化が進む農業用施設への対応

新たな取り組みの展望

②農村環境保全活動の全町での取り組み



地元住民と保育園による植栽



地元住民とNPOによる植栽

➡ 花のまち斐川の基礎として

新たな取り組みの展望

③女性の活躍により地域を活性化



植栽活動の中心となり活躍

県内若手の農業生産者



☞女性の視点や行動力を活かし、地域を活性化

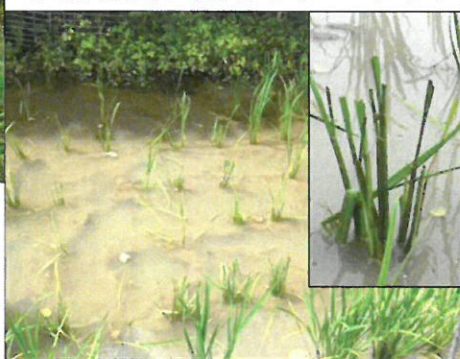
新たな取り組みの展望

④農作物や農業用施設を脅かす鳥獣等への対策

猪の被害を受けた農用地



水稻を食い荒らすヌートリア



ヌートリア

排水路畦畔を崩壊させる蟹



猪

☞自然だけでなく、生物への対応も必要に

かけがえのない農村の資源
次世代を担う子供たちへ繋げるため
地域の中心としてがんばります！

緑と潤いのふるさと

出雲市斐川土地改良区

